

1. 件名：福島第一原子力発電所 2 号機燃料デブリ試験的取り出しにおけるテレスコ式試験的取り出し装置に係る面談
2. 日時：令和 6 年 2 月 5 日（月）13:30～15:40
3. 場所：原子力規制庁 6 階会議室
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
正岡企画調査官、佐藤室長補佐、森審査班長、石井安全審査官
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室 担当 2 名（テレビ会議システムによる出席）
福島第一原子力発電所 担当 3 名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、今後申請予定の 2 号機燃料デブリ試験的取り出しにおけるテレスコピック式試験的取り出し装置の概要について、資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁は説明を受けた内容について事実関係を確認するとともに、主に以下のコメント等を伝えた。

- 今後のテレスコピック式試験的取り出し装置に係る申請に当たっては、以下の点に留意すること。
 - ◇ 現行実施計画に定めるロボットアームによる内部調査・デブリ採取や本日付けで認可した「2 号機燃料デブリの試験的取り出し」等との関係を整理し、申請範囲等を明確にすること。
 - ◇ 従前のロボットアーム式とは設備も異なることから、上記の認可案件の審査で指摘した点も踏まえつつ、閉じ込め等の安全機能や作業者の被ばく管理等に係る具体的な変更点及びその対策について説明すること。

○東京電力より、上記コメントについて了解した旨の回答があった。

6. 資料

- 2号機 PCV 内部調査・試験的取り出しテレスコピック式試験的取り出しについて

以上